

## 第1回教育大綱・教育振興基本計画策定委員会が出された意見（抄）

と き：令和2年8月5日（水）13:30～

ところ：鳥取市役所7階 第2委員会室

- ①公民館活用を、しっかり位置付けてほしい。
- ②美保球場が老朽化しており、公園と一体で整備してほしい。
- ③地域と学校の連携を強くしてほしい。特に中学校に入ると地域との関係が希薄になる。
  - 地域との関わりの中で中学生を動員し、貢献してもらうことも大切。
  - 市民体育祭、スポレクを充実させて、中学生を参加させるようにすべき。
- ④子どもたちを取り巻くネット環境が変化している。便利になることと個性の共存、人権意識を高めることを盛り込んでほしい。
- ⑤親の時間がないのが現状。自然の中で育てる森の幼稚園のような地域にしかない取組みは、移住定住にもつながると思う。
- ⑥小さい子どもと地域の関わりが少ない。公民館とのつながりが大切だ。
- ⑦コロナ騒動で「学校に来る」ことが当たり前でなく貴重なことだと気づかされた。子どもを育てるのはICTではなく人と改めて思った。
- ⑧学校教育を1番目に位置付けるのはどうか。
  - 学校・家庭・地域が一体となるべきだと思う。
  - 中教審では「学校を中心とした人づくり」「公民館を中心とした人づくり」が明記されている。
  - 公民館は、福祉・防災との関係もあり、本来あるべき社会教育的視点がおろそかになっているように思う。
- ⑨図書館は生涯学習の拠点であり、さらなる充実を望む。
- ⑩郷土誌をせっかく作成したのに、活用されていない。子どもへの教材とすべき。
  - 教諭は赴任後、まずその地域を学ぶべきだ。
- ⑪公民館事業、祭礼が少子高齢化でできなくなってきた。
- ⑫教育大綱・振興基本計画に社会教育計画を盛り込めば、生涯学習推進基本方針は策定不要ではないか。
- ⑬文化施設において、市長部局と生涯学習の境界があいまいだ。
- ⑭義務教育学校の独自科目（芸術・表現など）を、一般の教育課程にも取り入れていくべきではないか。